

平成27年10月7日

No. 54

# 日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

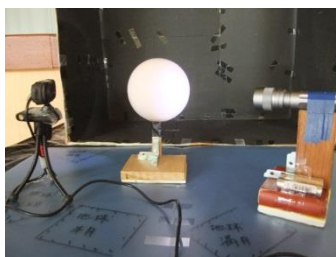
## 授業支援・金沢小学校

### 6年理科・月と太陽「月の形とその変化」

10月1日(木)、金沢小学校で実施した授業支援を紹介します。今回の授業では、体育館全体を使って地球・太陽・月の模型を配置し、「月の形が日によって変わって見えるのは、月と太陽の位置関係が変わるからである。」ことを、実際に体感できる工夫がされています。この授業支援は、児童たちが簡単に月の満ち欠けの変化をとらえることができ、とても分かりやすい内容になっているということで、各学校から要請が増えている内容です。



授業の導入で、懐中電灯の光を太陽に見立て、ボールに当てて月の形を投影すると、児童たちは、その様子にとっても関心を示していました。日立理科クラブの工夫を重ねて作成した装置が、子どもたちの学習意欲を喚起しています。月の始めに「月が立つ」が「ついたち」となり月の最初を「一日(ついたち)」と言い、新月から3日目の月を「三日月(みかづき)」、およそ十五日経つと満月になり、満月を「十五夜(じゅうごや)」と言う説明に、月の形の成り立ち



と月を表す言葉を実感していました。児童たちは、地球儀上の日本(体育館の中央)に集まり、月と太陽の位置関係を確かめながら、模型の月の形とその変化を観察ワークシートに書き込んでいました。

今年の9月の満月が「スーパームーン」と言う貴重な現象であったことで、今回の授業はかなり印象に残る内容になったことでしょう。また、地球から見て月と太陽が一直線上に並ぶ状態を作りだし、児童一人一人が、「金環日食」や「皆既日食」の様子を疑似体験して観察していました。



の様子を疑似体験して観察していました。

4名の支援員が、タイムリーに説明を加えながら天体ショーを演出し、スケールの大きい授業に時間があっという間に経過していきました。児童たちが実際の夜空を眺めて、月の形の変化を楽しんで見ることを期待したいですね。



ワークシートに月の形を真剣に書き込んでいる金沢小の6年生

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一  
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104